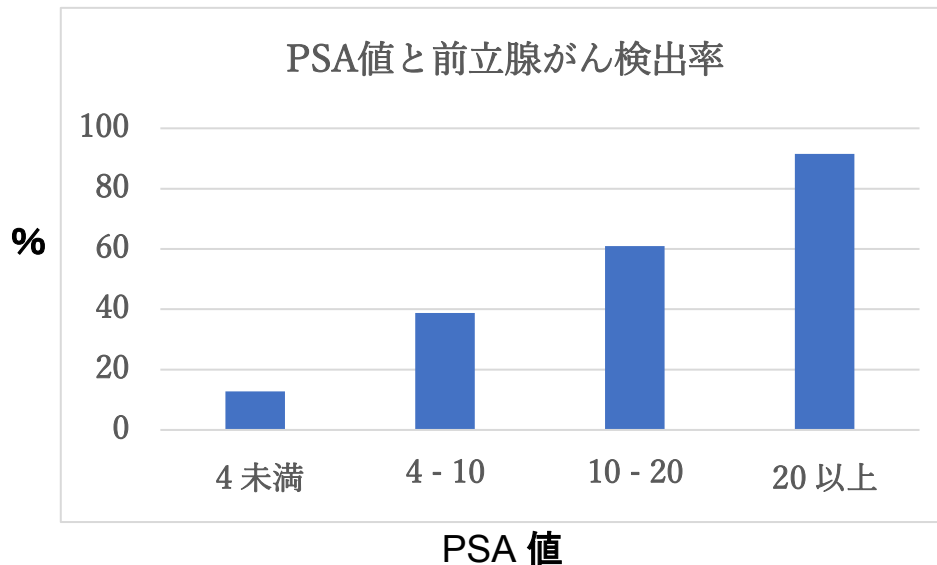


## 2019年4月 「前立腺PSA外来」 開設のご案内

前立腺がんは、近年の高齢化社会の進行に伴い急速に増加しています。とくに65歳以上の男性においては、胃がん、肺がんを抜いて一番多いがんとなっています。一方、死亡率は診断と治療法の進歩により減少傾向にありますが、2016年には約1万人の方が亡くなっています。

前立腺がんは、ほとんど自覚症状が無く、ひそかに進行します。早期に発見する方法は、PSA(前立腺特異抗原)の採血検査しかありません。このPSA検査は少量の血液で検査ができ、三重大学腎泌尿器外科の統計ではPSA値4から10でも約40%のがん検出率であり、20以上では90%の確率でがんが検出されます。



このように PSA 検査は鋭敏で有効な検査ですが、PSA 値が上昇しないがん(2-3%)もあります。PSA 検査の基準値は4ng/ml ですが、4 を超える方は精密検査をお勧めします。精密検査としては、まず侵襲の少ない、腹部からの膀胱・前立腺エコー検査と前立腺MRIによる画像診断を行います。そして、がんの疑いが強い場合にのみ、前立腺生検を行い、生検による合併症の不利益をできる限り回避するようにしています。

前立腺がんの生涯罹患リスクは、2025年には15% (6-7人に1人)になると予測されています。前立腺がんは、早期発見により非常に良好な予後が得られます。50歳を過ぎれば、まず一度はPSA検査を受けていただき、ご自分のPSA値(基礎値)を知る事が重要です。たとえ基準値以下のPSA値でも年齢に比してPSA値が高い方は、定期的なPSA測定による経過観察が必要です。このように、前立腺がんPSA検診は、受診者の年齢が最も重要な要素であり、各個人に最適な検診方法(オーダーメイド検診)が必要です。十分にPSA検診の意義(利点と欠点)をご理解いただいた上で、検診を受けられることをお勧めします。

当院では、2019年4月より総合健診科にて専門医による「前立腺PSA外来」(予約制)を開設します。既にPSA値の異常を指摘されておられる方、ご家族に前立腺がんの見える方、PSA検診について詳しい説明を受けたい方は、お気軽に受診していただければ幸いです。

※当院で健康診断を受診された方は選定療養費3,240円がかかりませんが、当院で健康診断を受けてない方は選定療養費3,240円が初診時に加算されます。

四日市羽津医療センター 総合健診科

受診予約窓口 電話：0120-156-052 (フリーダイヤル) まで

担当医師：三重大学医学部腎泌尿器外科 名誉教授 杉村芳樹